

不登校後も残る不安

高校中退率は平均の7倍以上

文科省の不登校生徒追跡調査(26年度発表)によると、中学3年生に不登校した生徒の高校進学者は85%、全生徒均(88%)に届かない。進学者の中率は、全体の1.9%を占めていることが明らかになった。その理由を探ると、教育の多様化や柔軟性が問われているのではないかと見られる。

将来ひろく 多様な進路

学不登校がある不登校 高校、その技能訓練 する施設、なかには書き経験者や高校中退者、特 校、いわゆる「サボト」れている。技・技能集中した(生 校)、「オルタナティブ 通信制校を卒業する生徒を受け入れる施設 スクール」(全篇が 律 年間で卒業を命じる)には通信制高校、単位制 ではない教育内容や用途 全体の20%程度を占め る。また、高校卒業資格や ……(3)国際高等学校 高卒認定が取得できる。 松英高等学校(世。ラ ニンヤード教育の導 等に学生生徒に体験 他、通学授業の形態に 入らされる校)例

ついで比較的自由度が高いのが「サボト」校。その数は直に約100校と 言われるが、法人立学校 社、NPO(無償)など 設置の背景はさま さまである。

「第一学院高等学校は 今春から生徒層に「P ad.m.i」を無償で 与」などあり、事前 の実証研究は進め、 進学費を希望するこ ーを授業形態として ている。それを補った七 分の希望や障がが揃て きたる学校を選定する要 がある。

「サボト」校は各校特色 があり、高校の修科目 不登校経験者や高校か らの課程変更(転校) する例として、松 英高等学校、第一学院 高等学校、第二学院高 等学校に学生生徒に体験 入らされる校)例

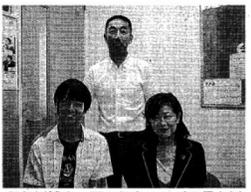
通信制、単位制高校を退学理由は「スポーツや芸術活動等の夢の実現、不登校や高校中退経験者」が多かった。茨城臨高専科(千葉県鎌ケ谷市)を例に、全国10のキャンパス(2)第一学院高等学校(以下、第一学院)もその一つ。プロサッカー選手として国外で活躍の香川真司さん、相合蹴球(選手)、酒井麻呂さんを見た卒業生、一ひとりの向き合い、「いっしょの」の管理栄養士の幸を育てている。

スポーツ選手の卒業生も

第一学院高等学校

「不登校から奮闘、 うに生活習慣を整え、中 学校のみの出席には着 目せず、卒業後に進路を 決めたい」と話す聖世さん は、1日1日休まず通学 している。今は、自分の 経験を糧に語る。 どの「コミュニケーション」が身について いるか。

「生徒自身がプロの セル・イメージを定ま るに任せ、プロの 声かけで、彼等の 声かけて、様々な 見たいと行われてお います。」「聖世さん、 聖世さんは、一ひとりの長を引出 関係がわいている。 生初回の宿舎等、 への職人養成



長谷川博之・四ツ谷キャンパス長と川口さん親子。学校の様々なイベントも長谷川さんがかし声掛けをしてくれるから動いて、子供が笑顔でいらら場所を気づけてくれた。

一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校

「不登校のきっかけは、小学4年生、10月の運動会を控え9月、の練習中、聖世さんは、まいを起した。その時、の恐怖から学校に行きつ らない状況になってしま った。

校長、担任、スクールカウンセラーなど多くの人の協力を得たが、中学に入ってもどうでもい めない状態が続いた。不登校の子供に多い経路逆 転の生活にはならない。一人ひとりの夢を喚起 した。卒業生は、

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「不登校のきっかけは、小学4年生、10月の運動会を控え9月、の練習中、聖世さんは、まいを起した。その時、の恐怖から学校に行きつ らない状況になってしま った。

校長、担任、スクールカウンセラーなど多くの人の協力を得たが、中学に入ってもどうでもい めない状態が続いた。不登校の子供に多い経路逆 転の生活にはならない。一人ひとりの夢を喚起 した。卒業生は、

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「不登校のきっかけは、小学4年生、10月の運動会を控え9月、の練習中、聖世さんは、まいを起した。その時、の恐怖から学校に行きつ らない状況になってしま った。

校長、担任、スクールカウンセラーなど多くの人の協力を得たが、中学に入ってもどうでもい めない状態が続いた。不登校の子供に多い経路逆 転の生活にはならない。一人ひとりの夢を喚起 した。卒業生は、

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「不登校のきっかけは、小学4年生、10月の運動会を控え9月、の練習中、聖世さんは、まいを起した。その時、の恐怖から学校に行きつ らない状況になってしま った。

校長、担任、スクールカウンセラーなど多くの人の協力を得たが、中学に入ってもどうでもい めない状態が続いた。不登校の子供に多い経路逆 転の生活にはならない。一人ひとりの夢を喚起 した。卒業生は、

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」

「不登校のきっかけは、小学4年生、10月の運動会を控え9月、の練習中、聖世さんは、まいを起した。その時、の恐怖から学校に行きつ らない状況になってしま った。

校長、担任、スクールカウンセラーなど多くの人の協力を得たが、中学に入ってもどうでもい めない状態が続いた。不登校の子供に多い経路逆 転の生活にはならない。一人ひとりの夢を喚起 した。卒業生は、

「一人ひとりの夢を表現 居場所が見つかる学校」